

平成23年12月 三種町議会定例会

平成23年12月三種町議会定例会が12月14日から16日の会期で開催されました。平成23年度三種町一般会計予算の補正など議案等12件を審議し原案どおり可決しました。開会初日に三浦町長が行政報告を行いましたので、その主な要旨と審議された主な議案についてお伝えします。

行政報告

平成24年度当初予算編成方針

本町の財政状況については、厳しい財政状況に対応した「集中改革プラン」及び「行財政改革推進計画」の実施や、国の地方財政計画による地方交付税等の増額により、現時点では健全な財政状況に好転しているものと認識しています。

しかしながら、長期財政見通しでは、普通地方交付税の合併特例加算が終了する平成33年度において、約4億円強の収支不足が見込まれることから、「行財政改革大綱」の着実な実施による安定的な財政基盤の確立が必要となっています。

平成24年度の当初予算編成に当たっては、既存事業の見直しによる選択と集中を図り、重点事業等の財源を確保し、メリハリのある予算編成を行うこととしており、本町の諸情勢を念頭に置き、住民生活に密着した事業を中心に、①生活環境施設の整備、②少子化対策の推進、③雇用対策推進事業の継続、④公共施設の改修整備、⑤地域資源活用産業振興への取り組み、の5分野を重点事業として位置づけながら取り組みたいと考えています。

三種町合併5周年記念式典について

本年は、平成18年3月に合併してから5周年の節目の年に当たることから、10月21日に山本ふるさと文化館において、三種町合併5周年記念式典を行いました。

式典には、来賓をはじめ各団体等の代表者、町関係者など多数の方がたからご臨席を賜り、合併5周年を祝い、更なる町勢の発展に意を新たにしましたところ。

また、これまで様々な分野で町の発展に貢献されてこられた62名の方がたを表彰しています。

式典ではさらに、これを機に定めました町民憲章を町内各小学校6年生の代表18名が群読により披露、最後には、コーラスグループと参列者がともに町民歌を斉唱し、式典の幕を閉じています。

公共施設利活用について

旧琴丘学校給食共同調理場施設の利活用につき一般公募したところ、2団体から申し込みがあり、三種町施設利活用希望者選定委員会を開催しました。申込者からの説明を受けながら事業並びに経営等にかかる利用計画等を検討した結果、宮城県仙台市の「株式会社北上京だんご本舗」に決定し、貸付期間は、5年間で更新も可能としています。来春から農林水産物の加工・製造を行い、10名から15名程度の地元雇用が予定されています。

自治会交付金について

合併以来、旧町ごとに街灯の設置状況や対応がそれぞれ違うことから、その調整、統一まで至らず懸案事項となっていますが、現在、各自治会から資料の提供を求めるなど、交付金の交付基準策定など交付金の統一に向けた準備を進めているところです。

然るべきときに自治会のご意見を伺う機会を設け、理解を得ながら、来年度には統一した新しい基準で、しかも自治意識の高揚を図り、自治会活動をより活発に展開していただけるような自治会交付金としたいと考えています。

三種町光通信網整備工事の進捗状況

現在、NTT森岳局舎から順次、光ファイバーケーブルの敷設を進めており、予定どおり2月中には完了する見込みです。また、整備後には保守管理などの契約を締結し、3月1日より、志戸橋・森岳・豊岡金田・外岡地区において、光ブロードバンドサービスが開始される予定となっています。

また、NTTが実施している八竜地域と上岩川地区を除く琴丘地域の工事進捗状況については、同社からの情報によると、3月1日より光ブロードバンドサービス提供エリアがさらに広がる見込みとなっています。

なお、未提供エリアは、大口地区の一部・芦崎地区・天瀬川地区・鯉川地区の一部などですが、次年度